

行政事業レビューシート (外務省)						
案件名	ASEAN貿易投資観光促進センター拠出金		案件開始年度	昭和56年度		作成責任者
担当部局	アジア大洋州局		担当課室	地域政策課		課長 伊藤 康一
会計区分	一般会計		上位政策	経済協力に係る国際機関等を通じた経済・社会分野に係る国際貢献に必要な経費		
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第3項		関係する計画、通知等	ASEAN貿易投資観光促進センターを設立する協定第10条第1項		
案件の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	ASEAN諸国の対日輸出を促進し、日本からASEAN諸国への投資を促進し、また、我が国からASEANへの観光を促進することを通じ、ASEANの経済成長を支援すること。ASEANから日本への投資及び観光もあわせて促進することで、双方向の交流と協力を強化すること。ASEANの文化紹介。					
案件概要 (5行程度以内。別添可)	日本とASEANの交流を強化し、ASEANの統合努力を支援するため、ASEAN各国、特に後発加盟国であるカンボジア、ラオス、ミャンマー、ベトナムの中小企業に対して、日本市場へのアクセスに関する情報や助言の提供、FTA等に関する説明、観光業関係者に対する人材育成などの支援を行うことなどを通じて、後発加盟国の成長の鍵を握る企業活動の活性化を図り、経済の底上げを図ることにより、ASEAN諸国の格差是正に貢献する。(活動の詳細は別添ご参照)。					
実施状況	1. センターが平成21年度に実施した①センター内の常設展示場における展示会及び商談会、②外部展示会への出展及び商談会による成約見込み額は8.29百万米ドル(平成22年3月末時点)(事業予算は約8700万円) 2. 投資事業として①国別投資促進セミナーを開催(約2800名が参加)、②8か国に投資環境視察ミッションを派遣。これらに参加した企業による成約実績についてフォローアップ調査を現在実施中。 3. 昨年8月に新潟市でASEAN観光フェアを開催。右を契機としてバンコク行き、ダナン行きの新潟空港発チャーター機が出発。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(当初)	141	145	133	157	-
	予算額(補正後)	141	145	133	-	-
	執行額	141	145	133		
	執行率	100%	100%	100%		
	費用総額(執行ベース)	141	145	133		
自己点検	支出先・使途の把握水準・状況	センターは、加盟各国1名ずつの理事から構成される最高意思決定機関である理事会、我が国関係省庁の課長級と在京ASEAN各国大使館の公使級から構成される執行委員会、事務局から成る。年に1回開催される理事会は、事務局から予算執行状況について説明を受け、審議した後に承認を行う。執行委員会は事務局が作成する予算案、年間事業計画案等についての審議を行い、その結果を理事会に報告。執行委員会は、センター予算の執行状況をより細かく監督し、適正な運営と事業を実施を確保すべく、少なくとも年に3回開催。				
	見直しの余地	管理費の合理化等を通じて経費の削減には引き続き努めていく必要があり、透明性も引き続き確保していく必要がある。 任意拠出金については、これまでも事業の費用対効果などを踏まえ、メリハリをつけた事業計画を策定。任意拠出金は過去10年間で3分の1の規模に削減し(平成12年度3億8000万円→平成21年度1億3000万円)、平成20年度から21年度にかけても約15%削減(平成20年度1億5600万円→平成21年度1億3000万円)。 今後とも、効率的、効果的な事業の実施に努めていくが、効果の高い事業は維持すべきであり、我が国の対ASEAN外交においてセンターが果たす役割の重要性、韓国、中国もセンターに倣って同様の国際機関をASEANとの間で設置済みあるいは設置予定である点には留意が必要。				
予算監視の効率化						
補記						



費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)	A. 貿易事業			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	交通費等	出展者の交通費・宿泊費等	12.5			
	謝金	日本人専門家への謝金	1.3			
	借料等	会場借料、設営費等	13.0			
	通訳料等	通訳、通訳機器等	1.2			
	臨時職員雇用	(株)マンパワー社(臨時職員派遣)	1.9			
	運送費	展示品の輸送経費	3.4			
	その他	印刷、通信、消耗品等	1.4			
	計		34.7	計		0
	B. 投資事業			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	交通費等	参加者の交通費・宿泊費等	23.1			
	謝金	日本人専門家への謝金	0.2			
	借料等	会場借料、設営費等	1.0			
	通訳料等	通訳、通訳機器等	1.7			
	臨時職員雇用	(株)マンパワー社(臨時職員派遣)等	17.1			
	その他	印刷、通信、消耗品等	6.9			
	計		50.0	計		0
	C. 観光・交流事業			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	交通費等	参加者の交通費・宿泊費等	6.7			
	謝金	日本人専門家への謝金	0.9			
	借料等	会場借料、設営費等	1.1			
	広報費	JR東日本等	8.3			
	臨時職員雇用	臨時職員雇い上げ	10.0			
	その他	外部イベント参加費、資料作成等	5.0			
	計		32.0	計		0
	D. 広報事業			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	交通費等	参加者の交通費・宿泊費等	0.9			
	謝金	日本人専門家への謝金	0.2			
	広報費	各種メディアへの広告掲載	1.9			
	印刷代	資料等作成	4.4			
	臨時職員雇用	広報スペース担当臨時職員	8.8			
	その他	展示場の維持管理等	7.4			
	計		23.6	計		0

日本 A S E A N センターの主要な事業

1. 日本 A S E A N センターによる活動の意義

日本 ASEAN センターが設立されてからの 30 年は、アジアの地域協力の先駆として ASEAN が大きく発展した時期に重なる。東南アジアでは、政治・経済・社会の各方面で地域協力が進展し、ASEAN 加盟国も 6 ヶ国からメコン諸国を含む 10 ヶ国に拡大し、2008 年には初の基本法となる ASEAN 憲章を発効させ、2015 年に ASEAN 諸国を単一市場に形成する ASEAN 共同体を設立するという目標を掲げるに至った。

ASEAN が共同体の設立を成功させ更なる発展を遂げられるかどうか、これはアジアの地域協力全体の成否に関わる問題であり、対 ASEAN 支援は、東アジア共同体構想を長期的目標に掲げ地域協力の推進を図る我が国外交にとって最優先課題の 1 つである。ASEAN が共同体を設立し運営していく上での最大の挑戦は、ASEAN 域内の経済の持続的発展と域内の経済格差の克服であり、特に、メコン地域の後発開発途上諸国の経済発展の促進が焦点となっている。ASEAN の経済成長への支援は、ASEAN 共同体の設立という新たな課題を前に、新たな戦略的意味合いを持つようになっている。

日本 ASEAN センターは、ASEAN 諸国との二国間や多国間の経済連携協定の締結の推進、ODA を通じたメコン地域その他におけるインフラ等の整備などの手段と並び、我が国による ASEAN の経済成長を支援する重要な政策手段と位置づけられる。ASEAN センターの活動は、貿易、投資、観光等の分野で対 ASEAN 諸国、特に後発開発途上諸国の中小企業を主な対象に対日輸出促進、日本企業による対 ASEAN 諸国への投資促進、日本人観光客の誘致等のための事業を中心としており、これらの活動は、ASEAN 諸国の企業や事業者が日本との間で事業を発展させること直接支援するという独特な方式を通じて、ASEAN 諸国の経済成長を支援することを目的としている。また、センターによる事業実施の特徴は、国際機関として、ASEAN 諸国の貿易投資担当部局の代表が加わる理事会その他の場で日本側と日常的な議論を重ね、ASEAN 側の要望や実情を十分に踏まえて事業を実施している点にある。こうした点で、センターは日本側企業や事業者の海外貿易投資の促進を第一の目的とする日本国内の諸団体とは異なる役割を与えられており、また、民間の商業ベースの活動によっても代替できない役割がある。

韓国が日本 ASEAN センターを研究した上で昨年日本 ASEAN センターと極め

て類似したセンターをソウルに設置し、また、中国が昨秋類似のセンター設立の検討作業を ASEAN との間で開始したことは、日 ASEAN センターの方式が、ASEAN 共同体設立という新たに出現した課題を前に、有効な政策手段であると認識されていることの現れであろう。将来的には、日中韓の ASEAN センターによる連携も検討課題であると考えている。

2. 日本 ASEAN センターの主な事業

(1) 貿易事業

(ア) 展示会開催：ASEAN 中小企業の製品の対日輸出を促進するため、センター内の多目的ホールで少なくとも年3回、展示・商談会を開催するほか、他の機関が開催する各種国際見本市などに参加し、ASEAN の有望商品・輸出企業の紹介を行う。センターは日本人専門家を ASEAN 各国へ派遣し、日本市場のニーズに合った ASEAN 製品を選定する協力と製品改良のため助言も行う。

(イ) 貿易ミッション招聘：日本における展示・商談会の開催期間中に、ASEAN 諸国の輸出業者、製造業者、政府関係機関職員によって構成されるミッションを日本に招聘し、ASEAN 側業者が日本人バイヤーと直接商談する機会を設ける。

(ウ) 市場参入サポート：日本と ASEAN の貿易統計や日本の輸入規則を含む情報を ASEAN 側に提供。ASEAN 諸国の輸出企業が日本市場に参入することを支援する目的でセンターは ASEAN 各国においてセミナーを開催。

【参考】

過去3年間の ①常設展示場における展示会及び商談会、②外部展示場への出展及び商談会による成約実績についてフォローアップ調査した結果は以下のとおり。(注：ASEAN 側参加企業への追跡調査の結果、受注金額が1万米ドル以上を対象に集計)(換算為替レートは税関公示レートの年平均を使用)。

2006 年度 予算：約 8, 000 万円 成約額：3, 223, 617 米ドル (3 億 7, 474 万円)
(17 社)

2007 年度 予算：約 7, 500 万円 成約額：1, 397, 071 米ドル (1 億 6, 475 万円)
(25 社)

2008 年度 予算：約 7, 500 万円 成約額：6, 663, 229 米ドル (6 億 9, 450 万円)
(18 社)

（２）投資事業

（ア）国別投資セミナー開催：ＡＳＥＡＮ各国の投資担当部局の高官を招聘し、ＡＳＥＡＮ諸国への直接投資に関心のある日本の企業を対象として、各国の投資政策や投資優遇措置などの投資環境について説明を行う。

（イ）投資促進ミッション派遣：ＡＳＥＡＮ諸国への投資を考えている企業や経済団体の代表をＡＳＥＡＮ諸国に派遣し、ＡＳＥＡＮ諸国の投資環境、投資優遇措置に関する最新情報を提供する。ミッションは、ＡＳＥＡＮ各国の投資関係機関、日系企業への訪問、工業団地の視察などを行う。

（ウ）ＡＳＥＡＮ各国投資担当官の研修：ＡＳＥＡＮ各国の政府担当官を日本へ招聘し、日本政府機関、経済団体、日本企業への訪問を通じて日本政府の政策や産業界の実情などについての理解を深める。

（エ）人材育成事業：日本人専門家をＡＳＥＡＮ各国に派遣して、投資誘致活動に関する各国政府の担当官を対象とした人材育成事業を開催。また、ＡＳＥＡＮ各国の政府関係者を日本に招聘し、同様の人材育成事業を日本で開催することも行っている。

【参考】

過去３年間の①投資促進セミナー、②投資環境視察ミッションの派遣に参加した企業による成約実績についてフォローアップ調査した結果は以下のとおり。

（注：本件調査は出資先である邦人企業を対象に集計）。

2006 年度 予算：約 7, 300 万円 成約額：20 億 3300 万円（5 件）

2007 年度 予算：約 7, 400 万円 成約額：504 億 6900 万円（17 社）

2008 年度 予算：約 7, 400 万円 成約額：13 億 5000 万円（7 社）

（３）観光・交流事業

（ア）人材育成事業：カンボジア、ラオス、ミャンマー、ベトナム諸国の観光関連政府機関関係者や観光業者を日本に招聘し、観光に関する日本の取組などを学ぶ研修事業を実施。また、日本人講師をこれら諸国に派遣し、ＡＳＥＡＮ各国の観光業界関係者に対して、日本人旅行者と接する際の留意点等について講義を行う事業も開催。

（イ）ＡＳＥＡＮ観光フェア開催：百貨店等と連携し、日本各地で年１回、ＡＳＥＡＮ各国の伝統芸能の実演、手工芸品の制作、ＡＳＥＡＮ産品などを紹介・販売するイベントを開催。

（ウ）観光ツアーの企画事業：日本の大学や観光の専門学校、旅行業界と連携して、ＡＳＥＡＮへの新しい観光ツアーの企画に関するコンペを実施。

（エ）ASEAN観光情報の提供：ASEANの地図、DVD、写真画像などを制作、改訂して、旅行業者や一般の方々への配布、貸し出しを行う。また、ASEANへの観光に関する最新情報をセンターのホームページ上で提供。

（４）広報活動

（ア）ホームページ上での情報提供：センターの活動やイベント、ASEANの基本情報、経済統計のほか、貿易、投資、観光に関する最新情報をホームページ上で提供。

（イ）メディアを通じた広報：新聞、雑誌等にセンターの活動、ASEAN関係に関する広告を掲載。

（ウ）センターの多目的ホールの活用：多目的ホールにおいて各種イベントを実施。

（エ）その他、外部の展示会やイベントへの参加、講演、広報資料作成。

（了）